

とりまとめの視点・方向性（案）

1 会議の目的

沼津駅付近鉄道高架事業について、社会経済情勢の変化を踏まえ、客観的かつ科学的見地から検証することを目的とする

2 沼津駅付近鉄道高架事業

- (1) 事業の概要
- (2) 事業の経緯

3 計画検証

3-1 交通対策の視点

- (1) 交通の課題
 - ・ 沼津駅周辺が抱える交通問題の抜本的解決
 - ・ 橋上駅と鉄道高架化
- (2) 費用対効果
 - ・ 鉄道高架事業の事業効果

3-2 地域振興・まちづくりの視点

- (1) 県東部地域の拠点にふさわしいまちづくり
 - ・ 東部地域の拠点都市
 - ・ 東部地域 100 万人都市圏の形成
 - ・ 山梨県、神奈川県との連携強化
 - ・ 高次都市機能の集積
- (2) 新たな都心コンセプトの創出
 - ・ 新しいコンセプトの都心づくり
 - ・ 沼津港の活用
 - ・ 市民との対話
- (3) 防災まちづくり
 - ・ 東日本大震災の経験に基づくまちづくり

3-3 物流の視点

(1) 県東部地域における物流

- ・ 東部地域のものづくりを支える物流機能
- ・ 地域活性化方策としての物流

(2) 鉄道貨物輸送の役割

- ・ 鉄道物流の果たす役割
- ・ 大規模災害時の役割

3-4 貨物駅移転計画

(貨物駅検討部会報告による)

4 まとめ

- ・ 交通対策、地域振興、物流の視点からの事業の合理性
- ・ 科学的合意形成手法の導入
- ・ まちづくりに与える効果の向上のための一層の工夫
- ・ 時間管理の概念の導入